

# AZ-COM REPORT

ENGAGEMENT  
LETTER

## 第52期 報告書

2024年4月1日—2025年3月31日

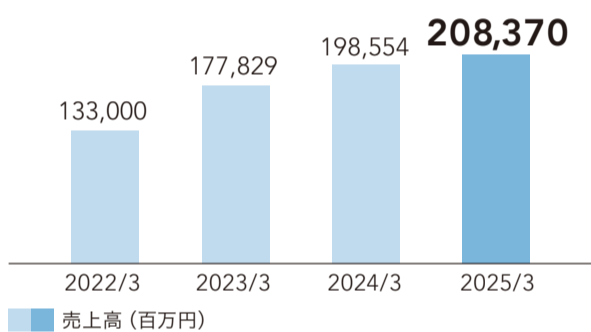


証券コード: 9090

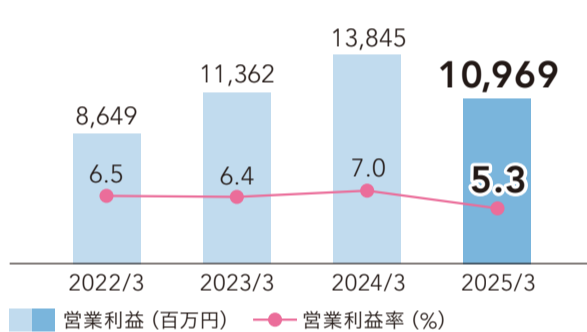
AZ-COM丸和ホールディングス株式会社

### 財務情報

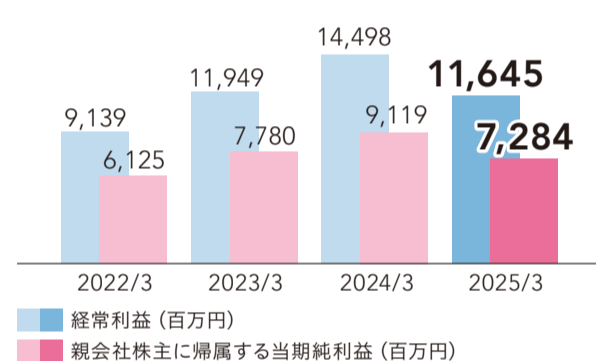
#### 売上高



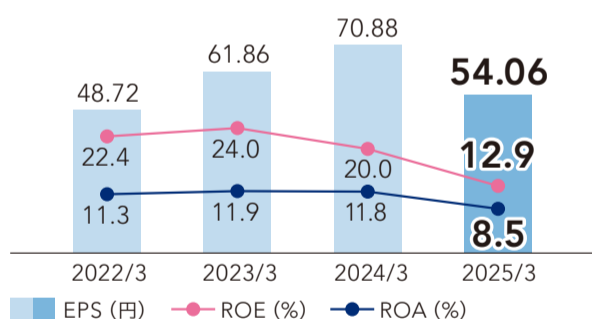
#### 営業利益 / 営業利益率



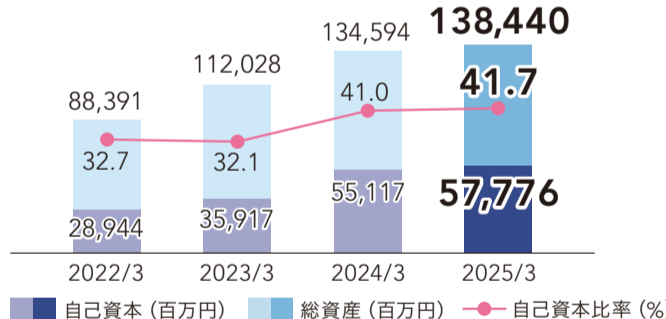
#### 経常利益 / 親会社株主に帰属する当期純利益



#### ROE (自己資本当期純利益率) / EPS (1株当たり当期純利益) / ROA (総資産経常利益率)



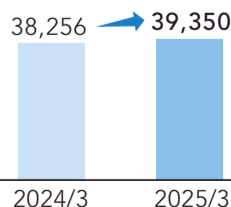
#### 自己資本 / 総資産 / 自己資本比率



### 事業別売上高

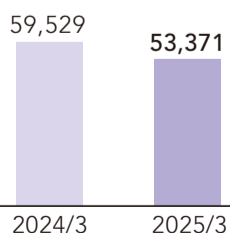
#### 輸配送事業

ラストワンマイル事業  
39,350百万円  
(構成比: 18.9%)



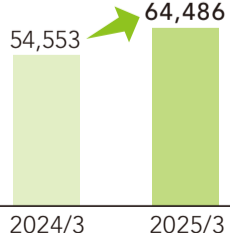
前期比 2.9% 増 ↑

EC 常温輸配送事業  
53,371百万円  
(構成比: 25.6%)



前期比 10.3% 減 ↓

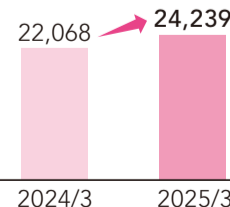
EC 常温 3PL 事業  
64,486百万円  
(構成比: 30.9%)



前期比 18.2% 増 ↑

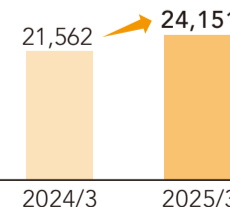
#### 3PL 事業

低温食品 3PL 事業  
24,239百万円  
(構成比: 11.6%)



前期比 9.8% 増 ↑

医薬・医療 3PL 事業  
24,151百万円  
(構成比: 11.6%)



前期比 12.0% 増 ↑

その他事業

売上高 2,771百万円



代表取締役社長

和佐見 謙

## お客様に選ばれる 「3PL & プラットフォームカンパニー」 を目指してまいります。

株主の皆様には、平素より格別のご支援・ご鞭撻を賜り、厚く御礼申し上げます。当社グループ第52期(2024年4月1日～2025年3月31日)における経営成績がまとまりましたので、ここにご報告申し上げます。

国内経済は、インバウンド需要の拡大や賃上げ等による雇用・所得環境が改善するなど、緩やかな回復基調となりました。一方で、長期化するロシアのウクライナ侵攻、米中対立、並びに中東情勢等の地政学リスクに加え、米国新政権による政策動向の影響など、先行きは不透明感を強めております。

物流業界におきましては、物価高騰に伴う物量の伸び悩みだけではなく、輸送力及び労働力不足や各種コスト上昇など、依然として厳しい経営環境が続いております。

当社グループは、コアとなるEC物流、低温食品物流、医薬・医療物流の各ドメインにおける業容拡大と、深刻化する人材及び稼働車両不足の状況下における事業拡大に資する人材の確保・

### 「中期経営計画2025」の成果

|       |     | 中期経営計画2025 |          |                  |          |                  |                   |
|-------|-----|------------|----------|------------------|----------|------------------|-------------------|
|       |     | 2022年3月期   | 2023年3月期 |                  | 2024年3月期 |                  | 2025年3月期          |
|       |     | 実績         | 計画       | 実績               | 計画       | 実績               | 計画                |
| 売上高   | 計画比 | 1,330億円    | 1,715億円  | 1,778億円<br>+3.7% | 2,000億円  | 1,985億円<br>△0.7% | 2,083億円<br>△13.2% |
| 営業利益  | 計画比 | 86億円       | 111億円    | 113億円<br>+1.8%   | 136億円    | 138億円<br>+1.5%   | 109億円<br>△36.3%   |
| 営業利益率 |     | 6.5%       | 6.5%     | 6.4%             | 6.8%     | 7.0%             | 5.3%              |
| 経常利益  | 計画比 | 91億円       | 115億円    | 119億円<br>+3.5%   | 140億円    | 144億円<br>+2.9%   | 116億円<br>△33.7%   |
| 経常利益率 |     | 6.8%       | 6.7%     | 6.7%             | 7.0%     | 7.3%             | 5.6%              |

育成、DX化の推進と適用による省人化・省力化、生産性向上に努めております。また、さらなる事業拡大のため、経営資源を適正に配分し、成長事業への集中投資と低収益事業の再生・再編による経営の効率化を図るとともに、ESG経営にも積極的に取り組み、経済価値を最大化すると同時に社会的価値の創出を目指しております。

以上の結果、EC物流事業では稼働台数の増加、成長するEC需要を背景とした新たな輸配送案件の獲得、大手ネット通販会社向けの大型拠点を中心とした新たな物流センターの開設、各取引先との料金改定が一部進捗したことに加え、完全子会社化した株式会社ルーフィの業績が寄与しました。一方、前連結会計

年度における大型拠点閉鎖に伴い輸送数が減少しました。低温食品物流事業では、新たなスーパーマーケット向け物流センター開設や各取引先における取扱物量の増加が寄与しました。医薬・医療物流事業では、主要取引先であるドラッグストアの業容拡大に対応する新たな物流センターを開設したことに加え、好調な出荷物量が業績に寄与した結果、前期対比増収となりました。利益面では、積極的な事業拡大を目的とした営業開発により、物流センターの拠点数や稼働車両台数が増加したことや適正な運賃への価格転嫁の取り組みが一部進捗しました。一方で、新たな拠点の開設及び統廃合に伴う一時費用や各種コストの上昇、株式公開買付関連費用が影響した結果、前期対比減益となりました。

### 新中期経営計画 中期経営計画 2028

当社グループは、人手不足や働き方改革を始めとする様々な環境変化に対応し、知恵と想像力を活かし次世代の経営システムで高収益を追求する企業になることで、2040年に売上高1兆円の実現を将来ビジョンに掲げています。このビジョン達成に向けたステップとして、2028年をゴールとする「中期経営計画2028」を策定し、業界トップクラスの「高収益企業づくり」を目指します。

#### 基本方針

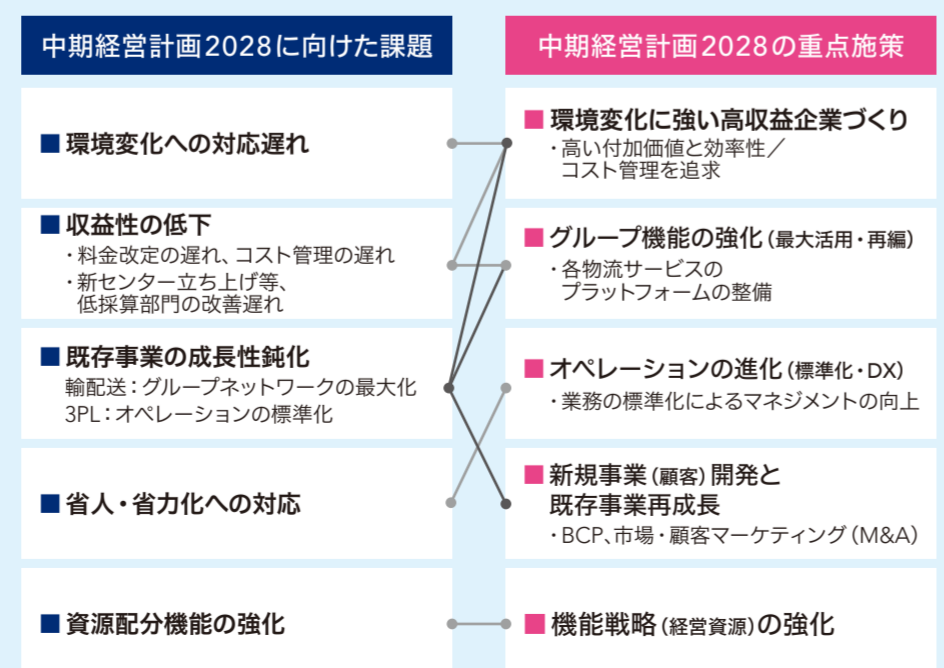
既存事業(輸配送事業・3PL事業)の構造改革及び新規事業の開発により、ROE15%以上を達成し、業界トップクラスの【高収益企業づくり】に挑戦する

#### 「高収益企業づくり」の実現



#### 重点戦略

「中期経営計画2025」で生じた物流業界の諸課題を乗り越え、環境変化に強い「高収益企業づくり」を、「中期経営計画2028」の3年間で実現します。



#### 数値目標

|       | 2025年3月期実績 | 2026年3月期計画 | 2028年3月期計画 | CAGR 年平均成長率 |
|-------|------------|------------|------------|-------------|
| 売上高   | 2,083億円    | 2,200億円    | 2,800億円    | 10.4%       |
| 経常利益  | 116億円      | 120億円      | 200億円      | 19.9%       |
| 経常利益率 | 5.6%       | 5.5%       | 7.1%       |             |
| ROE   | 12.9%      | 12.3%      | 15%以上      |             |

#### 事業別戦略

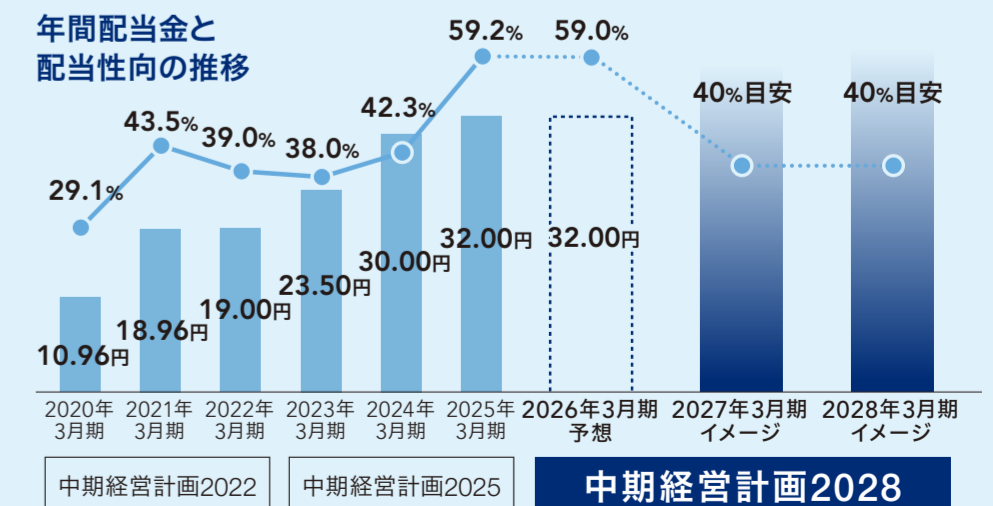
- 輸配送事業：幹線需要の対応(EC常温輸配送)とEC関連を中心としたセンターの稼働(EC常温3PL)により業容を拡大します。
- 3PL事業：AZ-COM Matsubushiの安定稼働と各センターの生産性の向上(低温食品3PL)につとめます。

| 事業         | 戦略  |
|------------|---|
| 輸配送事業      | グループ機能の強化   |
| ラストワンマイル事業 | ・軽自動車以外の輸送手段の確立とライドシェアの仕組みを活用<br>・計画的にSDを確保し、首都圏を中心に営業を強化                                   |
| EC常温輸配送事業  | ・幹線便事業については、新規センター開設による運行数の増加や、確立したネットワークの地方都市への展開<br>・ドライバーの働き方の多様化とDX投資による合理化で車両稼働の生産性を改善 |
| 3PL事業      | オペレーションの進化  |
| EC常温3PL事業  | ・EC関連の専用センター業務を中心に業容を拡大<br>・グループ内での「丸和スタンダード構築」を目的とした作業の標準化と現場マネジメントの確立                     |
| 低温食品3PL事業  | ・「AZ-COM Matsubushi」の安定稼働<br>・従来の食品SM以外の「食」に関わる事業の拡張<br>・産直の強化と多彩な輸送の連携でブランド価値の向上           |
| 医薬・医療3PL事業 | ・新センターの開設に向けたフィジカルインターネットの確立<br>・業務標準化による品質の担保  |

#### 株主還元方針

当社は、持続的成長のための先行投資を推進し、収益力及び資本効率の向上を図るとともに、累進配当<sup>※</sup>を継続して実施することで、株主の皆様への安定的かつ継続的な配当を行うことを基本方針としております。配当性向(連結)については40%を目安としております。

※「累進配当」とは、原則として減配せず、配当の維持もしくは増配を行う配当政策です。



※2021年3月期の配当につきましては創業50周年の記念配当(中間・期末それぞれ3.75円)が含まれております。 ※当社は、2019年10月1日付、また、2021年1月1日付で株式1株につき2株の株式分割を実施いたしました。当該株式分割に伴う影響を加味し、適宜修正を行った場合の1株当たりの指標の推移を記載しております。

## TOPIC 1 アズコムMC福岡センターの開設



パレタイジングロボット

所在地 福岡県糟屋郡久山町久原 3050  
延床面積 約13,000坪 管轄店舗数 約500店舗 従業員数 約350名

2004年のアズコムMC名古屋センターに続き、2025年2月にアズコムMC福岡センターが稼働しました。本センターの特徴である、AI技術やロボットを活用することで省力化や物流効率の改善を図り、株式会社マツキヨココカラ&カンパニーとのパートナーシップをさらに強化します。当社は本センターを未来型の物流基盤と位置づけ、「安全・安心・高品質・高収益」なセンターづくりに取り組んでまいります。

## TOPIC 2 株式会社ルーフィの完全子会社化

当社は2024年11月、株式会社ルーフィの発行済み株式を取得し、新たな仲間としてグループへ迎えました。両社は軽貨物運送とラストワンマイル領域において高い事業親和性をもっています。また、株式会社ルーフィの強みである冷凍・冷蔵車の配送ネットワークと配車マッチングシステムを活用することで、グループシナジーを発揮するとともにラストワンマイル領域における高品質な物流サービスの提供に取り組み、さらなる企業価値の向上を実現してまいります。



左：当社代表取締役社長 和佐見 勝  
右：株式会社ルーフィ 代表取締役社長 渡辺 泰章

### 株主さまアンケート



- ① 下記 URL にアクセス
- ② アクセスコード入力後にアンケートサイトが表示

<https://www.e-kabunushi.com>



アクセスコード



右記の方法でもアンケートにアクセスできます

ご回答いただいた方の中から抽選で

**薄謝 (QUOカード Pay500円)** を

進呈させていただきます

アンケート実施期間は本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です

株主の皆さまにおかれましては、何卒ご理解をいただきますとともに今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます

本アンケートは、株式会社リンクソシュールの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします <https://www.link-ss.co.jp/>  
アンケートのお問い合わせ：「e-株主リサーチ事務局」 MAIL [info@e-kabunushi.com](mailto:info@e-kabunushi.com)

### 企業情報 (2025年3月31日現在)

社名 AZ-COM丸和ホールディングス株式会社  
本社所在地 〒342-0008 埼玉県吉川市旭7番地1  
本社営業所 〒342-8505 埼玉県吉川市あさひ桃太郎1-1-1  
東京本部 〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-8-2 (鉄鋼ビルディング 5F)  
設立 1973 (昭和48)年8月  
資本金 91億17百万円  
事業内容 グループ会社の経営管理など  
従業員数 連結25,697名 (内正社員5,241名、パート20,456名)  
事業所 全国269拠点 (全グループ含む) 埼玉、東京、神奈川、千葉、群馬、栃木、北海道、岩手、宮城、愛知、大阪、京都、福井、兵庫、滋賀、岡山、広島、高知、福岡 他

#### 役員 (2025年6月25日現在)

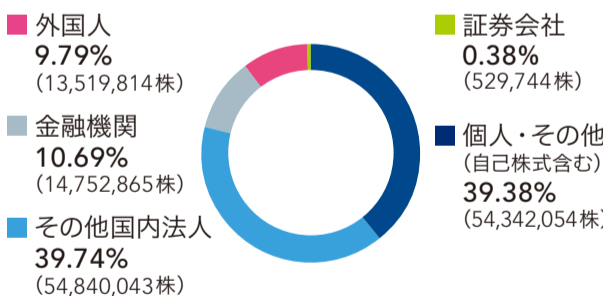
|         |       |          |        |
|---------|-------|----------|--------|
| 代表取締役社長 | 和佐見 勝 | 取締役 (社外) | 館 逸志   |
| 取締役     | 山本 輝明 | 取締役 (社外) | 西郷 正実  |
| 取締役     | 葛野 正直 | 取締役 (社外) | 船本 美和子 |
| 取締役     | 藤田 勉  | 取締役 (社外) | 上條 正仁  |
| 取締役     | 本橋 克宣 | 取締役 (社外) | 丹生谷 晋  |
| 取締役     | 平野 健治 | 取締役 (社外) | 後藤 紘子  |
| 取締役     | 岩崎 哲律 | 常勤監査役    | 河田 和美  |
| 取締役     | 小倉 友紀 | 常勤監査役    | 田中 茂   |
|         |       | 監査役 (社外) | 岩崎 明   |
|         |       | 監査役 (社外) | 門口 真人  |
|         |       | 監査役 (社外) | 市川 恭子  |

### 株式の状況 (2025年3月31日現在)

発行済株式総数 137,984,520株

株主数 11,170名

#### 所有者別株式分布状況



#### 大株主の状況

| 株主名                                    | 持株数 (千株) | 持株比率 (%) |
|--|----------|----------|
| 和佐見 勝                                  | 26,264   | 19.42    |
| 株式会社 TARO'S                            | 25,800   | 19.07    |
| 株式会社 WASAMI                            | 20,200   | 14.93    |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)               | 7,762    | 5.74     |
| 株式会社日本カストディ銀行 (信託口)                    | 3,661    | 2.70     |
| BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND | 3,616    | 2.67     |
| AZ-COM丸和ホールディングスグループ社員持株会              | 2,883    | 2.13     |
| 野村信託銀行株式会社 (投信口)                       | 2,588    | 1.91     |
| 株式会社マツキヨココカラ&カンパニー                     | 2,400    | 1.77     |
| 株式会社上組                                 | 1,243    | 0.91     |

※当社は、自己株式を2,748千株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。  
※持株比率は自己株式を控除して計算しております。

### 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
定時株主総会 毎年6月  
株主確定基準日 毎年3月31日  
剰余金の配当基準日 期末配当の基準日 毎年3月31日  
中間配当の基準日 毎年9月30日  
上記のほか、基準日を定めて剰余金の配当をすることができます。  
1単元の株式数 100株  
株主名簿管理人 みずほ信託銀行株式会社  
(<https://www.mizuho-tb.co.jp>)  
東京都千代田区丸の内一丁目3番3号  
事務取扱場所 みずほ信託銀行株式会社  
本店証券代行部  
東京都千代田区丸の内一丁目3番3号  
郵便物送付先 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部  
(<https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html>)  
〒168-8507  
東京都杉並区泉二丁目8番4号  
電話照会先 0120-288-324 (フリーダイヤル)  
(土・日・祝日を除く 9:00~17:00)  
公告掲載方法 当社の公告方法は、電子公告としております。ただし事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載しております。当社の公告掲載 URL は次のとおりです。  
<https://www.az-com-maruru-hd.co.jp/>  
各種お手続きのお取り扱いについて  
1. 株主様の住所変更その他各種お手続きにつきましては、原則としてお取引をされている証券会社等での取り扱いとなります。  
2. 特別口座の株式に関するお手続きにつきましては、みずほ信託銀行でのお取り扱いとなります。